

救急医療の出番です！！

副院長（救急対策委員長）

とくだ かずひこ
得田 和彦



ろうさい病院の使命のひとつは、病気やケガの治療を行うことです。当たり前のことですが、病気やケガはいつ発症するかは分かりません。また、直ちに処置を必要とする場合もあります。このような予期せず発症した病気やケガに対応する医療全般を救急医療と呼んでいます。

この救急医療に対応するため、国が一次（初期）・二次・三次救急医療機関の整備を行ってきました。一次救急医療機関とは、自力で通院できて入院や手術が不要の、外来で診療可能な患者さんに対応する医療機関です。二次救急医療機関とは、自力で医療機関を受診できず救急車で直接搬送されてきた患者さんの初期対応を行い、状況に応じて手術や入院治療を行う医療機関です。三次救急医療機関とは、一次救急医療機関や二次救急医療機関で対応できない患者さんに対応する医療機関です。ろうさい病院は二次救急医療機関ですが、もちろん、一次救急医療機関の役割も担っています。

とは言っても、調子が悪くなった時やケガした時に、ろうさい病院を受診すればよいのか、三次救急医療機関（富山県立中央病院）に行かなければならないかは分からないと思います。悩む必要はありません。まずは、ろうさい病院に御連絡ください。または、救急車を呼んでください。当院では来院後、直ちに必要な処置や検査を行います。そして、加療が不可能と判断した場合責任をもって治療が可能な施設に救急車やヘリコプターで搬送します。この過程は時間を無駄にしているわけではありません。三次救急医療機関の治療過程の一端をろうさい病院が担っているだけです。

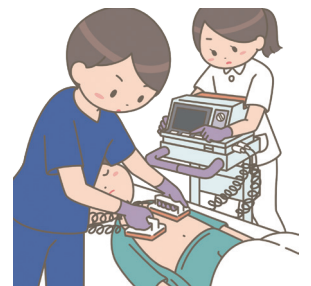
救命率の上昇や苦痛の軽減にもつながります。

もちろん当院での加療が可能な場合には、全スタッフが全力で治療に当たります。ご安心ください。ただ、受診時の注意事項があります。

ろうさい病院のみ通院している場合は、電子カルテで治療過程が分かりますが、他の医療機関に通院している場合は、病名・内服内容（お薬手帳）・医療機関名が分からないと困る場合があります。これらが一目でわかるように普段から準備しておくことをお勧めします。面倒ですが、救急医療の現場では大きな意味を持つことがありますので宜しくお願い致します。

普段と異なる症状、急激に悪化してきた症状、我慢できない症状、会話や歩行が困難となってきた場合には遠慮する必要はありません。

救急医療の出番です！

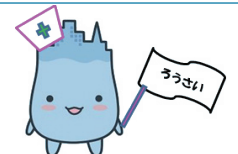


富山ろうさい病院では、毎月、魚津市ケーブルテレビ「NICE-TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：9月1日～9月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「頻尿、尿失禁、排尿障害について」（出演者）泌尿器科部長 石浦 嘉之



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/index.html/>